

## 令和7年度第2回世田谷区総合教育会議

### ご質問と回答

令和7年11月8日(土)に開催した総合教育会議にて、お寄せいただいたご質問のうち、当日の会議で回答できなかったものについて、回答を掲載いたします。当日の会議では、お寄せいただいた質問を踏まえ、区長、教育委員会等による意見交換を実施しました。下記 URL (YouTube 世田谷区オフィシャルチャンネル)よりご覧ください。

※当日の会議の様子はこちら

<https://youtu.be/ykjtn2F6rdE>

#### いただいたご質問(要旨)と回答

##### ご質問①

学校評価について、ご説明の中で、学校運営協議会がアンケートを実施し「自己評価」を行うとのことでしたが、この評価の対象はどなたになるのでしょうか。教職員、児童生徒、保護者など、具体的な対象について教えていただきたいです。

##### 回答

自己評価は学校が行い、学校運営協議会は学校の自己評価に対する評価を行います。学校関係者等アンケートは、学校の自己評価の材料として、児童生徒、保護者、学校運営に関わる地域にお住まいの方等、必要な範囲の方を対象に、学校が実施します。

##### ご質問②

学校関係者評価については、運営協議会長が作成するとのご説明があったかと思います。評価項目は運営協議会で作成することでしたが、実際に評価を行うのはどなたになるのでしょうか。

##### 回答

学校評価では、児童生徒、保護者、学校運営に関わる地域にお住まいの方を対象に実施したアンケート調査の結果等をもとに、学校が自己評価を行います。学校運営協議会は、学校の自己評価についてその妥当性についての評価や改善策についての助言等を行い、学校運営協議会会長がその内容を取りまとめます。学校運営協議会会長には、議事進行及び関係者評価の責任者としての役割をお願いします。

### ご質問③

現在の学校関係者評価委員会についてですが、「実行チーム」の一つとして位置づけられるという理解でよろしいでしょうか。

### 回答

現在の学校関係者評価委員会の機能は学校運営協議会に統合され、学校運営協議会で学校関係者評価を行います。学校関係者評価の実施にあたり、過年度のアンケート結果の分析等実務担当者を設けることは、学校でご判断いただくことになりますが、今回の組織の統合の主旨を踏まえると、実行チームとして位置付けることは、実質的に学校関係者評価委員会のスライドとなることが懸念されるため、不可と考えております。

---

### ご質問④

区内小学校 PTA 役員をしております。学校運営協議会は非常によい取り組みだと思います。一方で、役員活動を通じ先生方が授業以外にも会議や研修などたくさんの業務を抱えていらっしゃることも感じております。地域のつながりも大事ですが、地域との調整等現場の先生方の負担がこれ以上大きくなることを懸念いたします。

私の学校では特に副校長先生の多岐にわたる業務に驚きました。保護者として望むことは子どもたちの教育環境が整うことと同時に、先生方が教育に集中できる環境が保証されていることだと思います。地域などとの調整に労力を割かれるような本末転倒にならないことを願っております。

### 回答

PTA活動にご尽力をいただき、ありがとうございます。

今回の新たな仕組みは、学校と地域双方の負担軽減を目指しているところです。教員の負担軽減を行うことで、本来、教員が注力すべき児童生徒への関わりや授業の充実等を図ってまいります。本取組みを通じ、児童生徒の教育環境のさらに充実させていきたいと考えています。

---

### ご質問⑤

区は学校支援コーディネーター（会計年度任用職員）を12日か16日勤務と考えているようですが、1ヵ月にそれだけを勤務できる方が各学校に居るのでしょうか。ご説明を聞きますと91校中30校程度が居るようですが、いろいろな活動をされている方は、難しいと思います。勤務日数を柔軟にしないと、全91校に学校支援コーディネーターを置くことはできないと考えます。都の補助制度を活用するために、その日数になっていると説明を受けましたが、いかがでしょうか。

### 回答

会計年度任用職員である学校支援コーディネーターは、副校長補佐を兼ねていただくこととなるため、現在の副校長補佐と同等の勤務体系としています。人員の確保に関する課題につきましては、配置までの期間を設けているほか、教育委員会としても支援を行ってまいります。また、勤務日数の充実についても、今後の検討課題としてまいります。

#### ご質問⑥

地域から学校へコンタクトを取る際の窓口は、どこになるのでしょうか。

#### 回答

新たな仕組みでは、副校長と会計年度任用職員である学校支援コーディネーターが協力して担うこととなります。

---

#### ご質問⑦

学校支援コーディネーターの勤務時間が長く設定されていることについて、学校側、特に副校長先生が人材確保に苦慮されている様子を伺いました。

現在の条件では、地域で活動されている方々にとっても、継続的な勤務が難しいケースが多いのではないかと感じております。そのため、勤務条件をもう少し柔軟に設定することはできないでしょうか。例えば、1人で担うのではなく、2人で分担するなどの対応も可能であれば、より多くの方にご協力いただけるのではないかと思います。

#### 回答

会計年度任用職員である学校支援コーディネーターは、副校長補佐を兼ねていただくこととなるため、現在の副校長補佐と同等の勤務体系としています。人員の確保に関する課題につきましては、配置までの期間を設けているほか、教育委員会も支援してまいります。また、勤務日数の充実についても、今後の検討課題としてまいります。

なお、現在活動いただいている学校支援コーディネーターについても、時限的に引き続き従事いただける体制とする予定としています。

---

#### ご質問⑧

学校運営協議会には、どのような環境にある方が参加されることを想定されているのでしょうか。

コロナ以前から子育て世代の多くは、両親ともにフルタイムに近い働き方をされており、また高齢者とされる方々も80歳近くまで現役で活躍されているのが現状です。

町会役員や民生委員、主任児童委員なども、後任を見つけることが難しくなってきており、地域の担い手不足は深刻です。協力したいという思いはあっても、学校運営協議会の開催方法や参加の仕方に工夫がなければ、現実的には参加が難しい方が多いのではないかと感じています。とはいえ、こうした工夫がすべて学校側の負担となってしまうようでは、本末転倒になってしまいのではないかと、心配しております。

#### 回答

これまでの取組みでは、一部の方々に複数の会議体に参加いただくなど、負担が集中していた状況がございます。

一方で、学校の活動に興味を持つつも、どのように関わって良いのかが分からぬという声もいただいております。新たな仕組みでは、学校と地域の負担を減らしつつ、様々な立場の方が気軽に参加でき、学校を核に楽しみながら活動いただけるよう仕組みを整えてまいります。

## ご質問⑨

現在、コミュニティ・スクールの運営においては、校長や教育委員会、地域の中心的な方々の「熱意」や「熱量」に大きく依存しているのが実情です。果たして、学校・地域・保護者の間に、コミュニティ・スクールの機能に対する明確なニーズが存在しているのか、疑問を感じています。

また、PTA の組織や活動は今、存続の危機に直面しています。こうした状況を踏まえると、PTA の役割をコミュニティ・スクールの機能の一部として位置づける必要があると考えます。しかし、現行案には PTA の記載がなく、そのために PTA が大きな困難を抱えているのが現状です。

## 回答

地域によっては、ご指摘のような一部の方々に支えられている状況や会議体自体が形骸化している状況が見られます。こうした状況を急激に変化させることは難しいものの、改めて学校を核に地域との協働のあり方を見直してまいります。

また、PTA活動を含め、新たな仕組みに気軽に参加いただけるよう教育委員会として、学校を支援してまいります。

---

## ご質問⑩

教員も保護者(PTA)も日々多忙であることは事実です。しかし、地域の方々を巻き込んでいくためには、「地域にとって何が良いのか」「子どもを地域で育てるとはどういうことか」といった点について、納得感が得られなければ、具体的に何をどう取り組めばよいのかが見えにくくなってしまいます。

そのため、行政には「子どもを地域で育てる大切さ」や「学校を核とした地域づくりの意義」について、折に触れて継続的に発信していただきたいです。

## 回答

新たな仕組みの運用にあたっては、関係者のご理解が不可欠であると考えております。ご指摘のような意義について、継続的に発信するほか、効果的な広報のあり方も探ってまいります。

---

## ご質問⑪

知久教育長の任期は今月末で満了となります、引き続きご就任される予定はあるのでしょうか。

## 回答

後任の教育長については、区長が区議会(令和7年第4回区議会定例会)の同意を得て、任命する予定です。